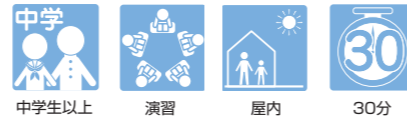


10-6 大雨のときのことを考え、話し合ってみよう⑥ — 避難について考えてみましょう

風水害により、地域で起こる可能性がある被害を考え、自分たちにはどのようなことができるか話し合います。



風水害のときの避難について理解します。



時間軸

実施内容

以下の説明文【例】を参考にお話ししてください。

1 はじめに

説明文【例】

先ほど考えてもらったような被害が起こることを想定して、2つのパターンで避難することを考えてもらいます。

2 時間的に余裕がある場合の避難（10分）

説明文【例】

まず、時間的な余裕がある場合、どこに避難所に、どのルートを通って避難するか考えてください。考えたルートを、ひとりひとりが順番に、地図に赤色の油性ペンでなぞってください。なお、避難所に行くまでに、水があふれそうな小さな川はないか、大雨により崩れそうな道はないか、など途中で危険箇所がないかを確認しながらなぞってください。



避難ルートを地図に書き込む

3 時間的に余裕がない場合（急な大雨など）の避難（10分）

説明文【例】

次に、急な大雨や、避難するタイミングを逃し、時間的に余裕がない場合の避難について考えてください。上記2で行った、避難所の位置と避難所までの道のりを思い出して、大雨の中を避難所まで避難するのか、2階などに避難するのかなど、この時に自分がどのような行動をとるかを考えて、ふせん（メモ）に書いてください。

4 まとめ（10分）

これまでの作業で考えた内容をグループごとに話し合い、整理した内容を模造紙にまとめてください。なお、まとめる内容は次の3点です。

- 地域の特徴
- 地域に起こる被害
- 避難のときの注意

● 指導ポイント

- ▶ 上記3のような状況にならないためにも、余裕をもって、早い段階から避難をすることを意識しておくことが大切です。また、流れている水には決して近づかないでください。
- ▶ 急な大雨や避難するタイミングを逃して、時間的に余裕がない場合は、自宅や隣接建物の2階等に避難することも考えられます。

● 自主防災組織の関わり方

各グループにはりついて、指導者の手伝いをお願いすることが考えられます。

● ひと工夫

参加者の中に風水害を経験した方がいらしたら、その時の実際の行動や活動について聞くと、さらにイメージがわかりやすくなります。（経験した人がいない場合には省略）